

最新版

様々な分野で活躍中の評論家3,261人を網羅

現代評論家人名事典

新訂第3版

日外アソシエーツ編 A5・710頁 定価16,800円(本体16,000円) ISBN4-8169-1709-8 2002年3月刊行

詳しいプロフィールと 著作がわかる

- 1995年～2001年に、各種雑誌・新聞等のメディアで評論活動を展開してきた3,261人を収録した人名事典です。本文は分野別に構成、各人物の詳しいプロフィールと最近の著作を調べることができます。
- 「専門分野別人名目次」「人名索引(五十音順)」付き。
- 『評論家人名事典』(1990年刊)、『現代評論家人名事典』(1995年刊)の最新改訂版です。

内容見本

立花 隆 たちばな・たかし


評論家 ノンフィクション作家 (生)昭和15年5月28日 (出)長崎県長崎市 本名＝橋 隆志 (学)東京大学仏文科(昭和39年)卒、東京大学哲学科(昭和46年)中退 (賞)文芸春秋読者賞(第36回)(昭和49年)「特集―田中角栄研究」(共著)、新評賞(第5回)(昭和50年)「田中角栄研究―その金脈と人脈」、講談社ノンフィクション賞(第1回)(昭和54年)「日本共産党の研究」、菊池寛賞(第31回)(昭和58年)「宇宙からの帰還」、文芸春秋読者賞(第45回)(昭和58年)「田中角栄と私の9年間」、新潮学芸賞(平成3年)「精神と物質」、大川出版賞(第2回)(平成5年)「電腦進化論―ギガ・テラ・ベタ」、司馬遼太郎賞(第1回)(平成10年)、放送文化賞(第49回)(平成10年) (歴)文芸春秋新社に入社するが、再び大学に籍を置きながら、フリーライターに。一躍名を知られるようになったのは、昭和49年に「文芸春秋」に発表した「田中角栄研究」で、膨大な資料を駆使して田中金権政治の実態を暴き、同年11月の首相退陣への引き金となった。ロッキード事件の田中公判は一度も欠かさず傍聴し続けた。また、脳死、インターネット、エコロジー、進化学など別の分野へのアプローチも試み、着眼のよさと実証の確かさ、平易で力強い文章により数々のルポをものし、ニュージャーナリズムの旗手となる。代表著作に、日本の政治土壌の謎に迫った「日本共産党の研究」「農協巨大な挑戦」「中核 VS 革マル」、現代文明の本質を問うた「文明の逆説」「宇宙からの帰還」「サル学の現在」、「脳を究める」「インターネット探検」「立花隆の同時代ノート」「環境ホルモン入門」「二十歳(はたち)のころ」など。平成7～10年東京大学先端科学技術研究センター客員教授。〔2001.6〕

【文献】

- ◇二十歳(はたち)のころ―立花ゼミ「調べて書く」共同製作2(1960―2001)新潮社 2002.1
- ◇二十歳(はたち)のころ―立花ゼミ「調べて書く」共同製作1(1937―1958)新潮社 2002.1
- ◇東大生はバカになったか―知的亡国論+現代教養論 文芸春秋

2010.10

●最寄りの書店にご注文下さい●

■貴店名  〒143-8550 東京都大田区大森北1-23-8 TEL.03(3763)5241 FAX.03(3764)0845 http://www.nichigai.co.jp/	注文書 ■お名前	現代評論家人名事典 新訂第3版 定価16,800円(本体16,000円) ISBN4-8169-1709-8	注文数 冊